

高校生熟議 2012

～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～

第二回 高校生熟議 2012 in 東京 開催報告書

2012年11月3日（土）

於：東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催・共催

大阪私学教育情報化研究会

安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

2012年11月19日

第1版



目 次

1. 開催概要.....	1
2. 高校生熟議 2012 in 東京 第二回リアル熟議 開催概要.....	3
3. 担当.....	7
4. リアル熟議 成果物と終了後の対応.....	7

1. 開催概要

名 称：	高校生熟議 ¹⁾ 2012 ～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～
主催・共催：	大阪私学教育情報化研究会 ²⁾ 安心ネットづくり促進協議会 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
後 援：	内閣府 総務省 文部科学省 経済産業省 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 東京都高等学校情報教育研究会 読売新聞社、全国読売防犯協力会
熟議支援：	文部科学省 「リアル熟議」は教育現場の皆さまに主催いただきます。文部科学省は、テーマに関する基礎資料の提供、参考資料「熟議実践パッケージ熟議虎の巻」や「実施後アンケートテンプレート」の提供、Web サイト熟議カケアイへの実施告知や熟議結果の掲載等の支援を行ってまいります。 (『文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の取組』より)
協賛企業：	グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、NHN Japan 株式会社 株式会社インテグラル、株式会社中部トータルサービス
協力団体：	一般社団法人情報教育研究所 一般財団法人日本脳力研究協会 NPO 法人企業教育研究会
協力企業：	株式会社内田洋行、株式会社 BITS PUZZLE アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社ガイアックス、 グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ミクシィ
開催目的：	高校生熟議は、2011年度に「高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」としてスタート致しました。初年度の高校生熟議では、大阪、京都、兵庫、奈良から11校が参加して、約三ヵ月間に、三回のリアル熟議と文部科学省「熟議カケアイ」上でネット熟議を開催しました。 高校生熟議の目的には二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、「熟議」を通して、初対面の人と話し合うという経験をより、段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二の目的は、社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。今年度は、急速に普及して

	<p>いるスマートフォンについて、高校生がその問題点と対応について熟議をいたします。また、高校生熟議では、通信事業者やサイトの運営事業者、情報モラルに携わる団体等の参加によりキャリア教育としての側面も持ち合わせています。</p> <p>さらに、東京、大阪の代表者による「高校生熟議サミット」を開催し、提言をとりまとめ、「高校生の意見を中央に」と考え、関係省庁にプレゼンテーションを予定しております。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年 4 月の小学校を皮切りに、今年度は中学校、来年度は高等学校と全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度の高校生熟議では、スマートフォンに関する熟議から、これまでのケータイによるインターネット利用と比較して新たな課題や問題について、高校生が家庭や学校で如何に取組むべきかを先進的な取組で提案し参考に資する。</p>
<p>高校生熟議 2012 の概要：</p>	<p>高校生熟議 2012</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生熟議 2012 in 東京 ・高校生熟議 2012 in 大阪 ・高校生熟議サミット（東京・大阪の代表者による熟議） ・最終報告会（サミットでの取りまとめを提言として関係府省庁等に報告）
<p>高校生熟議 2012 実行委員会：</p>	<p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会副会長、私立羽衣学園高等学校） ・ 更科幸一（プレゼンピック、私立自由学園高等科） ・ 齋藤長行（青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員） ・ 高橋正夫（社団法人全国高等学校 PTA 連合会顧問） ・ 鎌田真樹子（熟議懇談会委員、違法・有害情報相談センターアドバイザー） ・ 佐藤喜信（株式会社内田洋行 教育総合研究所） ・ 石原友信（安心ネットづくり促進協議会 事務局） ・ 吉岡良平（社）モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局） <p>【スーパーバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平野翔大（第 43 代招待会議実行委員長） ・ 金子真志（高校生熟議 in 大阪 最終報告者、ネット熟議高校生ファシリテーター） <p>【事務局】</p> <p>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局 吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-6913-9235 東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル 3 階</p>

2. 高校生熟議 2012 in 東京 第二回リアル熟議 開催概要

第二回概要：	<p>第2回は高校生、教員、企業関係者など 70 名以上の参加者を得て、「スマホ時代のネットの在り方・使い方」をテーマに第1回の内容を踏まえて、高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】</p> <p>・第二回 「スマホ時代のネットの在り方・使い方」</p> <p>第2回の最終回は高校生、教員、企業関係者など約 70 名の参加者を得て、「これからのネットとケータイを考える」をテーマに高校生と教員、事業者が4つのグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>開会の挨拶</p> <p>安心ネットづくり促進協議会 会長 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 代表理事 堀部 政男 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課課長 玉田 康人 様</p> <p>・携帯電話やスマホに関する現状を説明していただく。</p> <p>第一部：東京・大阪各校自己紹介</p> <p>・大阪との TV 会議でお互いに学校紹介を実施して、その後質疑応答を実施しました。質疑応答は地域の特性がでて大変盛り上がりました。場も一気に和やかになりました。</p> <p>第二部：熟議「スマホ時代のネットの在り方・使い方」</p> <p>更科教諭（自由学園高等科）から本日の課題が発表されました。</p> <p>高校生は4つのグループに分かれ、書記とファシリテーター、ファシリテーター補助も4つに分かれてグループに入りました。</p> <p>熟議・プレゼン資料作成</p> <p><プレゼンテーションにむけて></p> <p>熟議の最後に各グループからパワーポイントで発表していただきます。書記のみなさんと協力して、発表資料を作成してください。テーマに沿ってテンプレートが用意されています。</p> <p>1) 「スマートフォンって何」 これまでのリアル熟議やネット熟議の中で議論した、スマホについて、整理してまとめましょう。</p> <p>2) 「スマホのトラブルにどう対処する」 これまでのリアル熟議やネット熟議の中で議論した、スマホのトラブルの部分について、整理してまとめましょう。</p> <p>3) 「スマホ世代の高校生の主張」 将来の社会像、環境、自分たちの夢など、今回の熟議の結論を発表する頁です。 以上について、みなさんの想いをまとめてください。</p>
--------	--

	<p>第三部:グループ発表</p> <p>グループごとにまとめた内容を発表していきました。全ての班が短い時間の中で内容をうまくまとめた発表でした。発表方法も工夫を凝らしたものが多く、大変盛り上がりました。</p> <p>講評</p> <p>茨城県メディア教育指導員連絡会 会長 堤 千賀子様より「今回高校生熟議に参加したみなさんには今日体験し考えたことを生かして、自分の周りで小さな熟議を開いてその思いを伝えてほしいと思います。」との講評をいただきました。</p> <p>最後に全体で集合写真を撮りました。</p> <p>12月15日に実施される高校生熟議サミットについてリーダー代表3名を選考しました。</p> <p>※第二部のグループ熟議の詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。</p>
「リアル熟議」 参加校:	<p>〔東京都〕自由学園高等科、東京学芸大学附属国際中等教育学校</p> <p>〔神奈川県〕鎌倉女学院高等学校</p> <p>〔茨城県〕水戸女子高等学校、茨城県立勝田工業高等学校</p>
日 時:	2012年11月3日(土) 13:30-17:00
場 所:	<p>東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行)</p> <p>東京都中央区新川 2-4-7</p> <p>アクセス 地下鉄東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」A4出口より徒歩4分</p>
参加人数:	<p>熟議参加生徒 18人</p> <p>見学者 54人(教員・教育関係者22人 その他32人)</p> <p>合計:72人</p>
熟議グループ:	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【第1班】5人</p> <p>茨城県立勝田工業高等学校 2年 男子</p> <p>水戸女子高等学校 1年 女子</p> <p>鎌倉女学院高等学校 1年 女子</p> <p>鎌倉女学院高等学校 1年 女子</p> <p>自由学園高等科 3年 男子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>日本スマートフォンセキュリティ協会 菅野 泰彦</p> <p>〔ファシリテーター補助〕</p> <p>グリー株式会社 牛腸 綾香</p> <p>〔書記〕</p> <p>目白大学 亀井 歩</p> <p>【第2班】5人</p>

	<p>自由学園高等科 3年 男子 自由学園高等科 3年 男子 茨城県立勝田工業高等学校 2年 男子 鎌倉女学院高等学校 1年 女子 東京学芸大学附属国際中等教育学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 慶應義塾大学 平野 翔大 〔ファシリテーター補助〕 NHN Japan 株式会社 高橋 誠 〔書記〕 お茶の水女子大学 島崎 依子</p> <p>【第3班】4人 鎌倉女学院高等学校 1年 女子 水戸女子高等学校 1年 女子 東京学芸大学附属国際中等教育学校 3年 女子 自由学園高等科 3年 男子 NPO 法人企業教育研究会 市野 敬介 〔ファシリテーター補助〕 株式会社ディー・エヌ・エー 脊戸 篤志 〔書記〕 目白大学 小倉 知枝</p> <p>【第4班】4人 自由学園高等科 3年 男子 水戸女子高等学校 1年 女子 茨城県立勝田工業高等学校 2年 女子 鎌倉女学院高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 帝京高等学校 三輪 清隆 〔ファシリテーター補助〕 Yahoo! JAPAN 箕輪 憲良 〔書記〕 お茶の水女子大学 中山 翠</p> <p>〔書記リーダー〕 目白大学 町田 沙奈美</p>
<p>高校生熟議サ ミット・最終報 告会スケジュ ール：</p>	<p>東京・大阪からそれぞれ代表者3名を選出し、下記の予定で「高校生熟議サミット」および「最終報告会」を行ないます。</p> <p>「高校生熟議サミット」 2012年12月15日（土）13:30-17:00</p>

	於：東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 「最終報告会」 2013年1月28日（月） 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」、総務省、文部科学省、経済産業省（予定）
--	---

3. 担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会、ファシリテーター・書記手配
熟議懇談会	鎌田	熟議全般、
EMA	吉岡 他	事務局、庶務、受付
安心ネットづくり促進協議会	石原	記録（撮影）
内田洋行	市村、佐藤	会場設営、機材準備等

4. リアル熟議 成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で熟議の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) リアル熟議終了後、書記が記録した各グループの熟議内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、大阪私学教育情報化研究会のサイトにアップデート
- 4) ネット熟議のサイトに大阪私学教育情報化研究会の当該ページのリンク URL を記載
- 5) 第三回終了後、桑崎先生の総評と併せて、大阪私学教育情報化研究会にて取りまとめ
- 6) 総務省、文部科学省へのプレゼンテーション